

①都道府県・市区町村名	京都市	②補助事業の種類 (どちらかに「○」)	I	地域の文化遺産次世代継承事業
			II	世界文化遺産活性化事業
③実施計画の名称	世界文化遺産活性化事業			
④実施計画期間	平成28年4月～平成29年3月			
⑤過去の補助事業実績				
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業				千円
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業				千円
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業				千円
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業				千円
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業				3,473千円
⑥計画の実施状況(概要)				
※平成28年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。				
<p>平成22年12月10日付で策定された、京都市基本計画(「はばたけ未来へ!京(みやこ)プラン」)の政策分野6(文化)を、本事業の基本的な理念・計画と位置付ける。基本的な理念・計画の期間は平成32年度までである。</p> <p>基本方針</p> <p>くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。</p> <p>推進施策</p> <p>1 すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり</p> <p>(1) 多彩な文化芸術に親しみ、創造的な活動ができる環境づくり</p> <p>地域ごとの特色あるくらしの文化が継承されるよう、京都の先人たちのくらしのなかから生み出され、受け継がれてきた文化に対する市民の関心と理解を深める取組を推進するとともに、地域の取組を支援する。</p> <p>また、幅広い市民が世代を越えて多彩な文化芸術に気軽に親しむことができるよう、文化芸術の鑑賞、体験及び発表ができる機会を提供するとともに、文化芸術に関する市民の自主的な活動やボランティア活動を支援する。</p> <p>(2) 優れた文化芸術を通じた子どもたちの感性と表現力の向上</p> <p>文化芸術に対する子どもたちの感性を磨き、表現力を高めるため、京都が有する豊かな文化芸術の資源や人材を生かし、学校、地域その他のさまざまな場において文化芸術に関する教育を推進するとともに、子どもたちが優れた文化芸術のほんものの輝きに触れる機会を充実する。</p> <p>(3) 文化芸術による魅力ある地域のまちづくりの推進</p> <p>地域のくらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、そこで生まれる活力やにぎわいが地域の活性化に資するよう、文化芸術と地域のまちづくりとの連携を図るとともに、それぞれの地域の特性に応じた文化芸術に関する活動の場を提供するなど、京都ならではの文化芸術による魅力ある地域のまちづくりを地域住民との協働により推進する。</p>				

## 2 歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援

### (1) 伝統的な文化芸術の保存と継承

伝統芸能、伝統文化やこれを支える伝統工芸の技術を守り育て、継承していくために、次代を担う後継者の育成を支援するとともに、市民をはじめ広く国内外のひとびとが京都の伝統的な文化芸術を体験したり、身近に触れることができる機会を提供する。

### (2) 新たな文化芸術を創出する場づくりとひとづくり

京都で生まれた若い才能や京都が誇る重層的な人材が、個性豊かな文化芸術の活動を展開できるよう、京都芸術センターを中心として、芸術家・芸術関係者の育成や、芸術先品の制作・練習の場の提供等の支援を行う。

また、「大学のまち」や「ものづくり都市」の特性を生かして、学術研究や産業と文化芸術が相互に影響を与え、創造的な活動を新たに生み出す環境を整備する。

## 3 世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上

### (1) 文化芸術の交流の促進

国内外の芸術家の受入れや京都で活動する芸術家の国内外への派遣、文化芸術に関する国際的な催しの実施など、文化芸術に関する国内外の地域と市民や芸術家の交流を促進する。

また、歴史と現代が融合する京都の文化芸術に関して、国際的な関心と理解をより一層深めるため、京都の文化芸術に関する情報ネットワークを整備し、広く世界に向けて的確に京都の文化芸術の魅力を発信し、あわせて鑑賞や体験のための観光に活用する。

### (2) 文化芸術環境の向上

京都のまち全体を文化芸術の活動の場としてとらえ、その拠点施設として、京都会館、京都芸術センター、京都市美術館、京都コンサートホール、地域文化会館等が十分な役割を果たすよう、それぞれの文化施設の機能の充実を図る。

また、文化芸術に関するさまざまな活動を支える環境を整備するため、施設の運営に関して専門的な知識・技能を有する人材の確保と育成を図る。

## 4 かけがえのない文化財の保護、活用と伝承

### (1) 文化財の保護、活用

文化財としての価値を有しながら、十分に調査が行き届いていない有形無形の文化財の実態把握のために、大学等と連携して調査を行い、重要なものについては、市の指定・登録文化財として保護し、将来的には、国の指定・登録文化財をめざす。

日本の歴史や文化にとって、かけがえのないこれらの文化財を活用して、京都の魅力を広く国内外に知らせるとともに、さらに文化財保護の機運を高める。

### (2) 文化財にかかわる多様な人材の育成

文化財を生かした地域ごとの特色あるまちづくりを進めるため、文化財保護に不可欠な専門的能力を有する技術者を、大学や研究機関等との連携により育成するとともに、地域において、専門的知識を生かして文化財の調査や保存・活用策の提案ができる人材や文化財の公開等の活用事業に携わるボランティアを育成する。

上記を基本理念として踏まえつつ、以下の事業を実施した。

世界文化遺産「古都京都の文化財」賀茂御祖神社の歴史文化をひもとく／団体名：糺猿楽再興実行委員会

## ⑦事業実施による効果等の検証・分析結果

※平成28年度までの計画の実施により得られた効果や実施後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。

世界遺産の体験プログラムとして、[①学術シンポジウムによって学術的な成果を現場へと還元→②実演によって①を体感→③実際に体験することによりより深く実感]という仕組みができた。この仕組みによる効果として、今まで当事者も気づかれなかった賀茂御祖神社の魅力が引き出されるとともに、地域の方々に深く「実感」してもらうことができた。

・SNS「フェイスブック」の活用による「世界遺産」の普及

平成27年5月に550年ぶりに復興した糺勸進猿楽の専用のページを活用し、シンポジウムやワークショップの情報を配信することでフォロー人数を増加させた。目標値を、前年度比10%増加としていたところ、18%増加した。事業を継続することで認知度が高まったことが伺える。

平成27年度 615 → 平成28年度 725 前年度比 18%増加

・アンケート集計と分析

シンポジウムとワークショップで、＜体験することにより世界遺産としての「下鴨神社」への理解が深まったか＞の分析を実施したところ、86%の方々が「深まった」と回答した。（回答数314名／有効回答率82%）

・参加者数

平成27年度と事業の内容と回数が異なるため単純な比較はできないものの、平成28年度の参加者数はのべ227名と、増加が認められる。とくに地域の方の参加定着率が高くなったのが特徴的である。

・参加者の声

第1回シンポジウム：「いつも通り抜ける神社が違った魅力を放っていて感動した」「賀茂ゆかりの狂言があることを初めて知った」「狂言をはじめて見たがわかりやすかった」 他

第2回シンポジウム：「昨年の糺勸進能を見て感心をもった。謡曲「鴨長明」を初めて聴いて感動した」「能をはじめとする芸能、歌舞音曲が、神社という場で役割を広げていったことがわかった」 他

第3回シンポジウム：「猿楽と神社の結びつき、役割について学ぶことができた」「橋掛りの重要性についての話は、関係者にとっても画期的な機会だったと思う」「上映された映像は広く一般に販売されるともっと広がるのではないか」 他

夏休み体験教室：「賀茂の地で「賀茂」を謡えて幸せを感じた」「重要文化財の舞台上で舞えて嬉しかった」「神社に親しみがわいた」 他

以上の事業の実施により、京都の先人たちのくらしのなかから生み出され、受け継がれてきた文化に対する市民の関心と理解が深まり、地域ごとの特色あるくらしの文化の継承につながった。また、日本の歴史や文化にとって、かけがえのないこれらの文化遺産を活用することにより、京都の魅力が広く国内外に知らされ、文化遺産保護の気運が高まった。

今後は、更なる地域の活性化を目指し、これまでの成果を踏まえて事業を推進していく。

また、市民アンケートによる総合評価や各申請団体による自己評価及び自主評価のほか、京都市独自制度としてテーマに基づく有形・無形の文化遺産を集合体として認定する「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」を創設しており、市民からもテーマを公募していることから、同制度による認定件数を京都の文化遺産を守り、活かしていこうという機運の高まりをはかる指標とした。

平成32年度までに10件を目標値とし、平成28年度は3件が認定された。

（平成28年度達成率 30%）